

題材 「言葉の伝わり方」 2時間中の第2時

(1) 学習のねらい

相手も自分も気持ちのいい言葉でコミュニケーションをとりたいと思った子どもたちが、自分がかけてほしいと思う言葉を探し、相手に届けていく教師のエピソードにふれることを通して、言葉に正解はないけれど、相手も自分もどちらも大切にしたい思いが根底にあることに気づき、よりよいコミュニケーションをとるために、自分はどうかしたらよいのかを考えることができる

(2) 本時の学習材

言葉をかけられた側の感情について考える活動

○教師の体験をもとに、かけられて嬉しい言葉を考えることができる。

○自分が触れてきた思いやりを思い出すことができる。

(3) 学習の展開

過程	学習活動	予想される子どもの動き	時間	指導と評価
課題把握	1 スライドを提示 プリントを配付	学習問題 Bさんのかける言葉に正解はないが、BさんはどうすればAさんの心に届く言葉をかけられるか。 ・Aさんのことをよく見る ・Aさんの気持ちをもとにする ・Aさんと話す ○Aさんの思いに立とうとすることが大切だね	10'	○「Aちゃんだから仕方ないよ」について思い出す。 ・Aさんの気持ちを大切にす 旨の発言が出れば「何故？」と考えていく ・相手の気持ちを考えること で、心に届く言葉をかける
	2 なぜ先生は嬉しかったのか考える	○先生は昔、こんなことがあって、とても嬉しかったよ （スライドを見せる）	20'	○ 学習材 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 先生の体験をもとに、言葉のかけかたを考える活動。 </div>
展開	学習課題 どんな言葉をかけられたとき、嬉しかったのか 思い出して書いてみよう			
	3 ワークシート記入、発表	・こんな言葉が嬉しかった ○なぜ嬉しかったのだろう	15'	評価 自分の言葉で振り返りを 書いている
終末	4 振り返り記入			